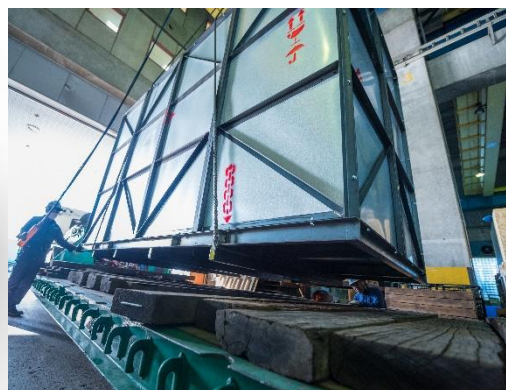


2023年3月期第2四半期 決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2022年12月8日

東証スタンダード
【証券コード：9366】



本日のご説明内容

1. **2023年3月期第2四半期決算概要
：前期比増収・減益**
2. **2023年3月期 業績予想：増収・減益**
3. **2022年3月期～2023年3月期
中期経営計画の進捗状況**
4. **サステナビリティへの取組み**
5. **Appendix**
 - ・ **2023年3月期第2四半期 連結貸借対照表**
 - ・ **2023年3月期第2四半期
連結キャッシュ・フロー計算書**
 - ・ **外部環境**

- 1. 2023年3月期第2四半期決算概要 P 3**
2. 2023年3月期 業績予想 P 8
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
4. サステナビリティへの取組み P20
5. Appendix P24

1-1. 2023年3月期第2四半期 決算概要

- ・売上高：工作機械引き続き好調のため、増収
- ・営業利益：材料費、販管費増加のため、減益
- ・経常利益：為替差益を2億57百万円計上したため、増益

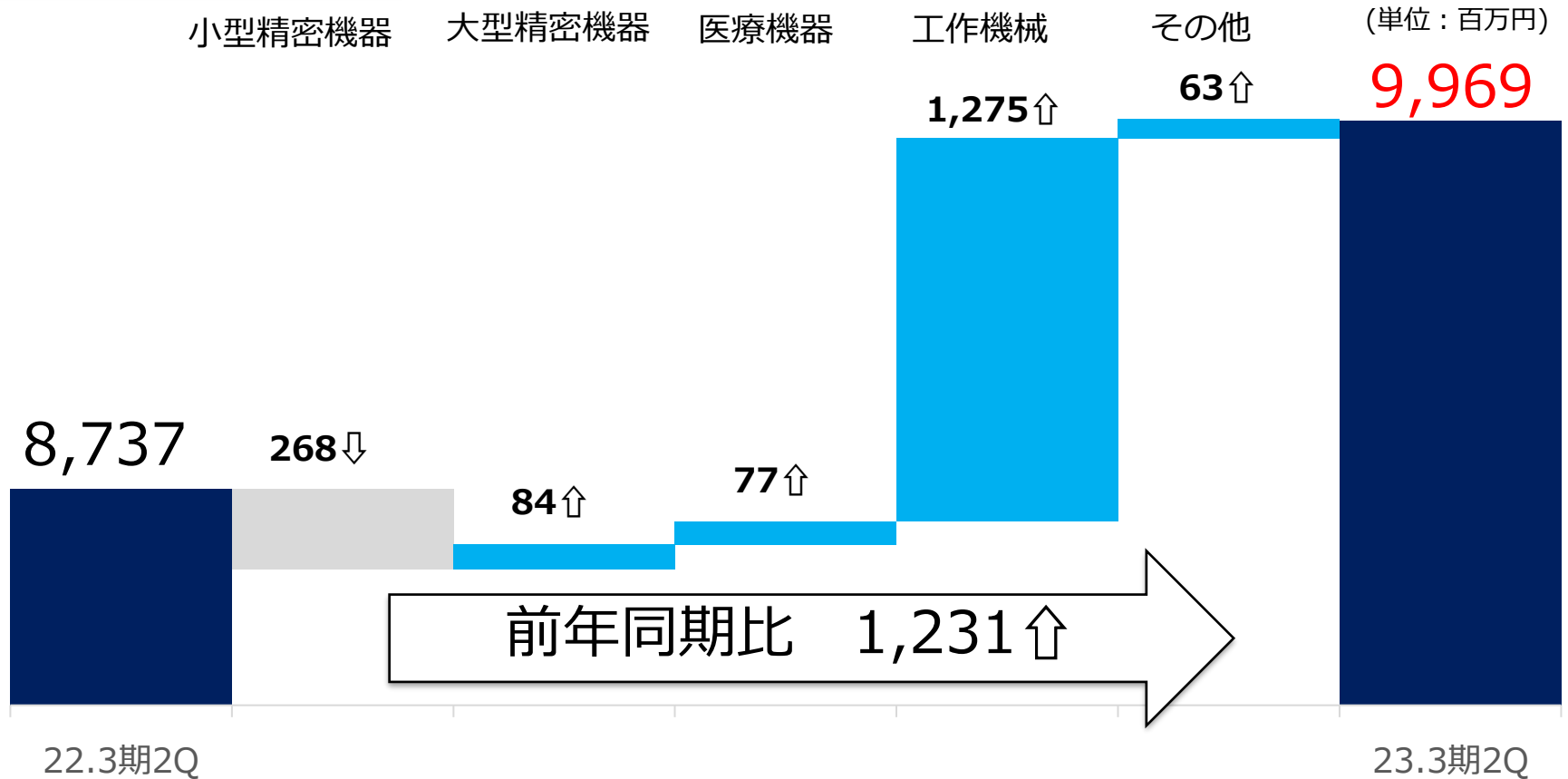
(単位：百万円)

	2022.3期 2Q	2023.3期 2Q	前期比 増減率	2023.3期 2Q予想	予想比 増減率
売上高	8,737	9,969	+14.1%	9,000	+10.8%
売上原価 (売上原価率)	6,793 (77.8%)	7,942 (79.7%)	+16.9%	—	—
売上総利益 (売上総利益率)	1,944 (22.2%)	2,026 (20.3%)	+4.3%	—	—
販管費 (販管費率)	1,319 (15.1%)	1,459 (14.6%)	+10.7%	—	—
営業利益 (営業利益率)	624 (7.1%)	566 (5.7%)	▲9.2%	430 (4.8%)	+31.8%
経常利益 (経常利益率)	672 (7.7%)	776 (7.8%)	+15.4%	400 (4.4%)	+94.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	480 (5.5%)	542 (5.4%)	+12.7%	260 (2.9%)	+108.6%
1株当たり 当期純利益(円)	85.86	95.81	+11.6%	46.27	—

1-2. 2023年3月期第2四半期 取扱製品群別 決算概要

- ・ 工作機械：引き続き好調に推移
- ・ 小型精密機器：上海ロックダウン&前期発生のスプット案件が今期未発生

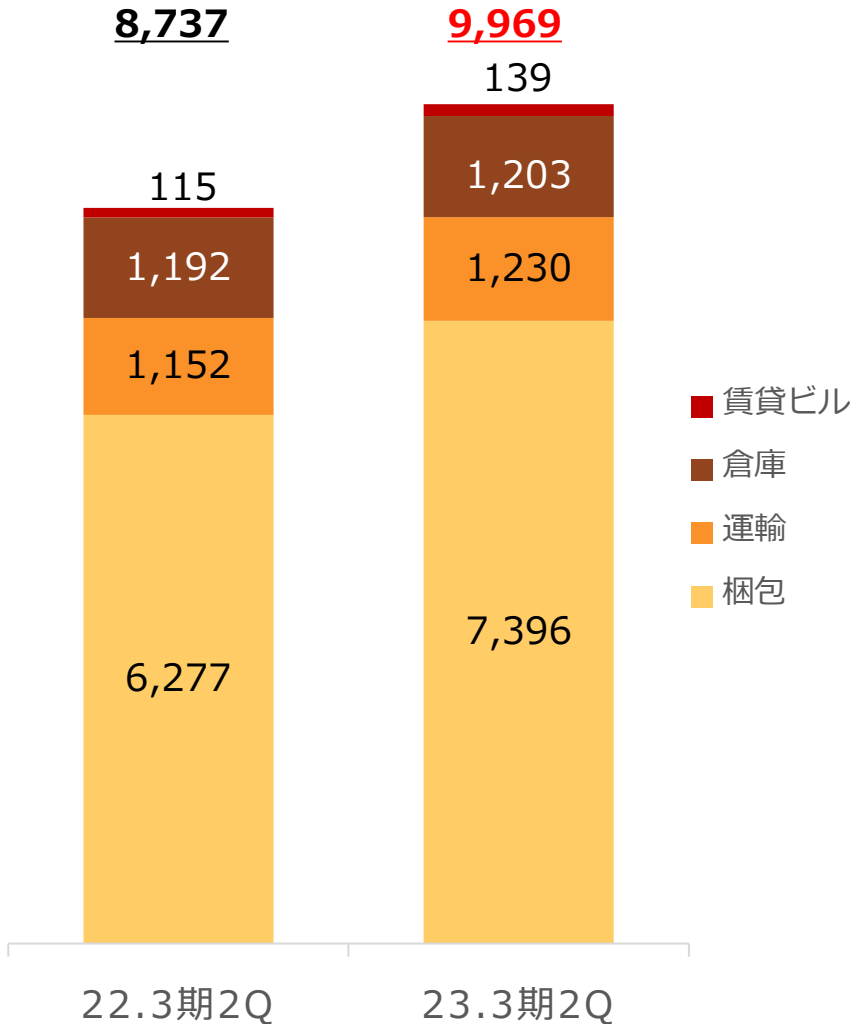
製品群別売上高の増減分析



1-3. 2023年3月期第2四半期セグメント別 決算概要

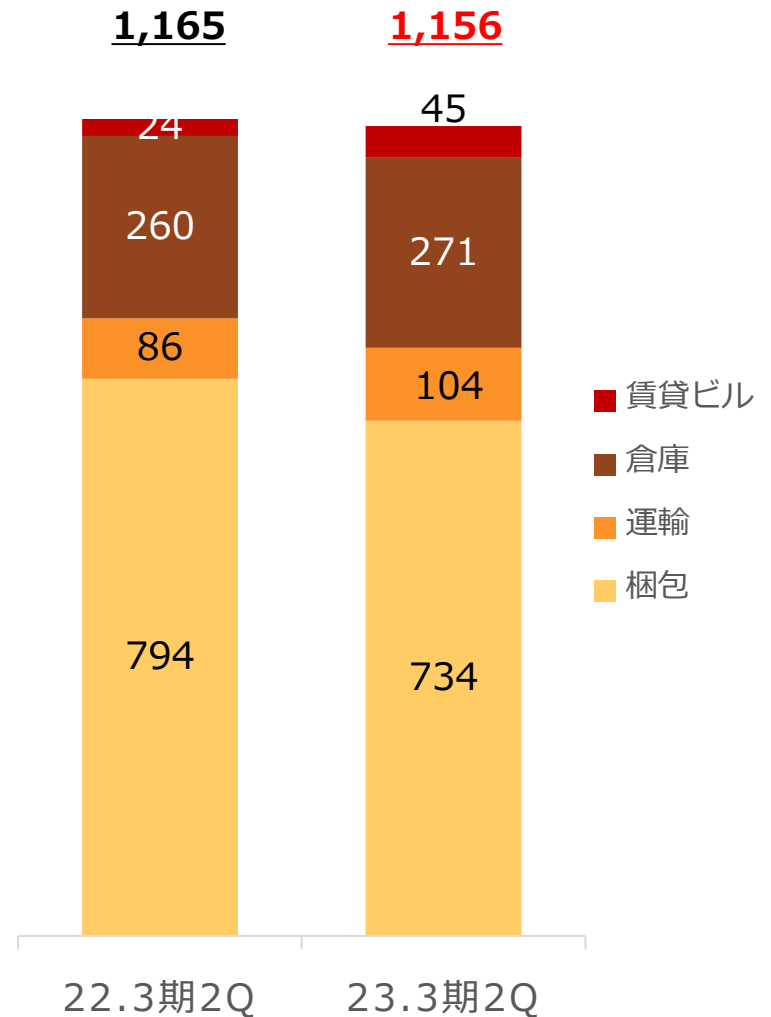
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



1-4. 2023年3月期第2四半期 地域別売上高 決算概要

・ 米国：海上輸送のスペース確保が困難なため、航空輸出が増加 (単位：百万円)

	2022.3期 2Q	2023.3期 2Q	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
日 本	8,171	9,391	91.8%	+1,220	+14.9%
中 国	51	76	0.8%	+25	+50.5%
米 国	609	760	7.4%	+151	+24.8%
計	8,831	10,228	100.0%	+1,397	+15.8%
内 部 取 引 等	▲93	▲259	—	▲165	—
合 計	8,737	9,969	—	+1,231	+14.1%

1. 2023年3月期第2四半期決算概要 P 3
- 2. 2023年3月期 業績予想 P 8**
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
4. サステナビリティへの取組み P20
5. Appendix P24

2-1. 2023年3月期 業績予想

当第2四半期連結累計期間までの実績を勘案し、下期も工作機械、半導体製造装置の取扱いが同程度は見込まれることから、通期連結業績予想を修正

(単位：百万円)

	2022.3期	2023.3期 修正後予想	前期比 増減	前期比 増減率	2023.3期 当初予想
売上高	18,525	19,000	+475	+2.6%	18,000
営業利益 (営業利益率)	1,060 (5.7%)	950 (5.0%)	▲110	▲10.5%	900 (5.0%)
経常利益 (経常利益率)	1,107 (6.0%)	1,100 (5.8%)	▲7	▲0.6%	840 (4.7%)
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	759 (4.1%)	800 (4.2%)	+41	+5.4%	580 (3.2%)
ROE (自己資本利益率)	8.5%	8.3%	▲0.2pts	—	6.1%
1株当たり 当期純利益(円)	135.15	141.35	+6.2	+4.6%	103.23
1株当たり配当(円)	40	30	—	—	30

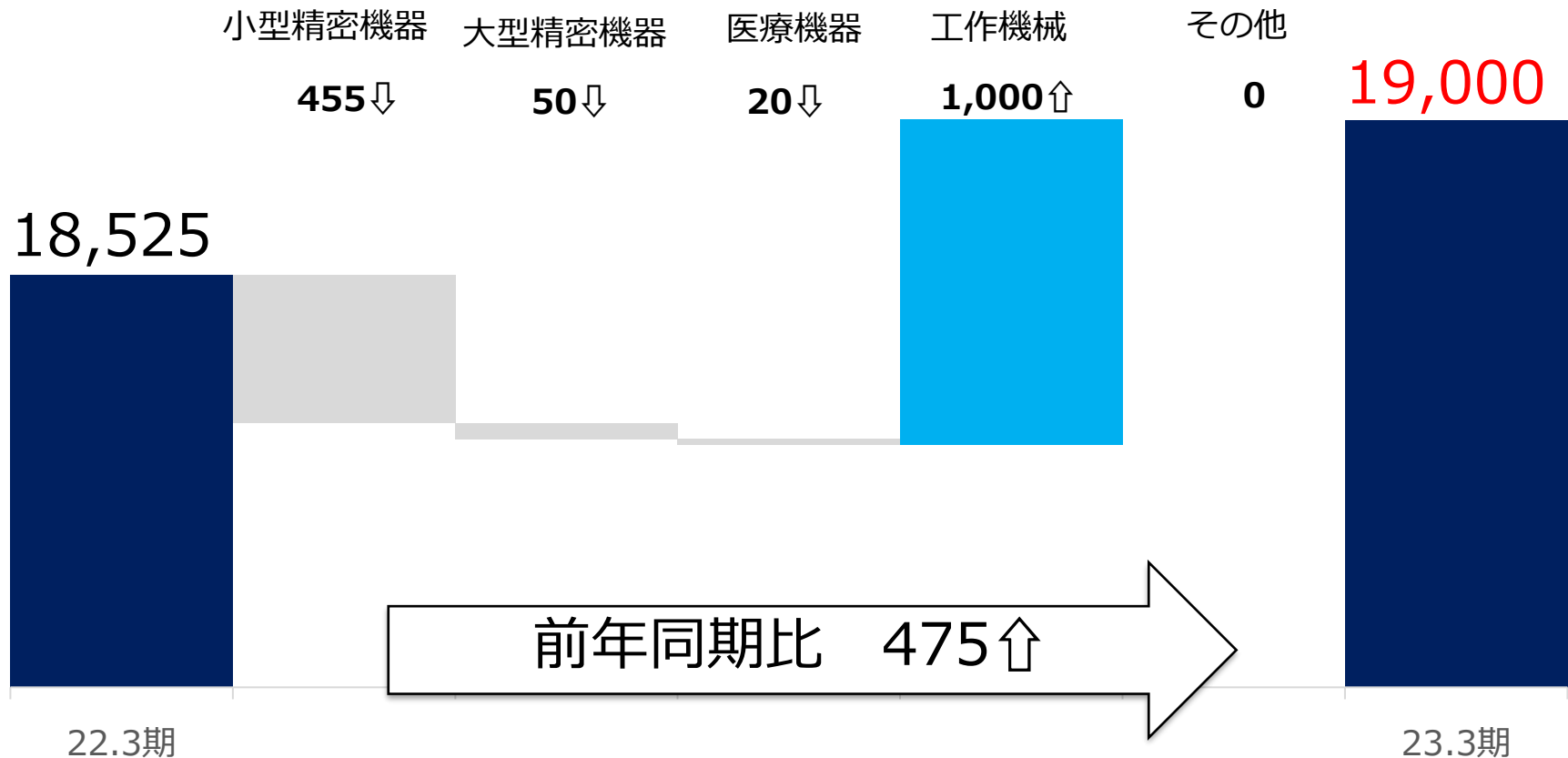
【参考】 ◆設備投資 22.3期実績 10億円 23.3期予想 14.4億円
 ◆減価償却 22.3期実績 7.3億円 23.3期予想 7.2億円

2-2. 2023年3月期 取扱製品群別 業績予想

- ・ 工作機械、半導体製造装置は同程度を見込む

(単位：百万円)

製品群別売上高の増減分析



2-3. 2023年3月期 地域別売上高 業績予想

米国：航空輸送から海上輸送への回帰が見込まれるものの、一部製品での生産の回復が見込まれるため、増収予想

中国：工作機械の梱包輸出案件を受注予定のため、増収予想

(単位：百万円)

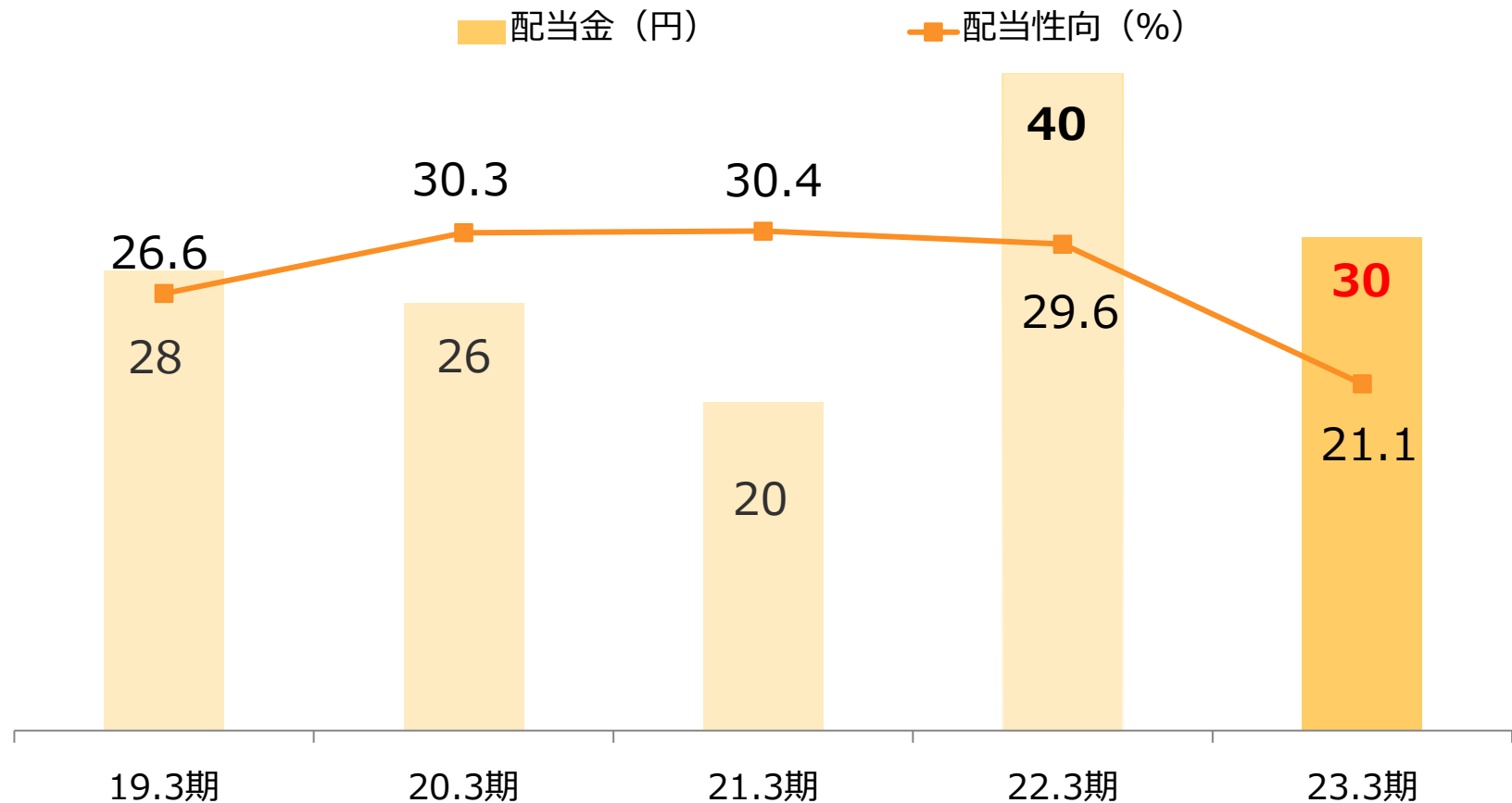
	2022.3期	2023.3期 予想	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
日 本	17,373	17,800	91.3%	+427	+2.5%
中 国	89	150	0.7%	+61	+68.5%
米 国	1,323	1,550	8.0%	+227	+17.2%
計	18,786	19,500	100.0%	+714	+3.8%
内部取引等	▲261	▲500	—	▲239	—
合 計	18,525	19,000	—	+475	+2.6%

為替レート 2022.3期 1ドル=109.80円 1人民元=17.03円
2023.3期 1ドル=121.00円 1人民元=19.00円

2-4.配当について

2022.3期：過去最高の40円を配当

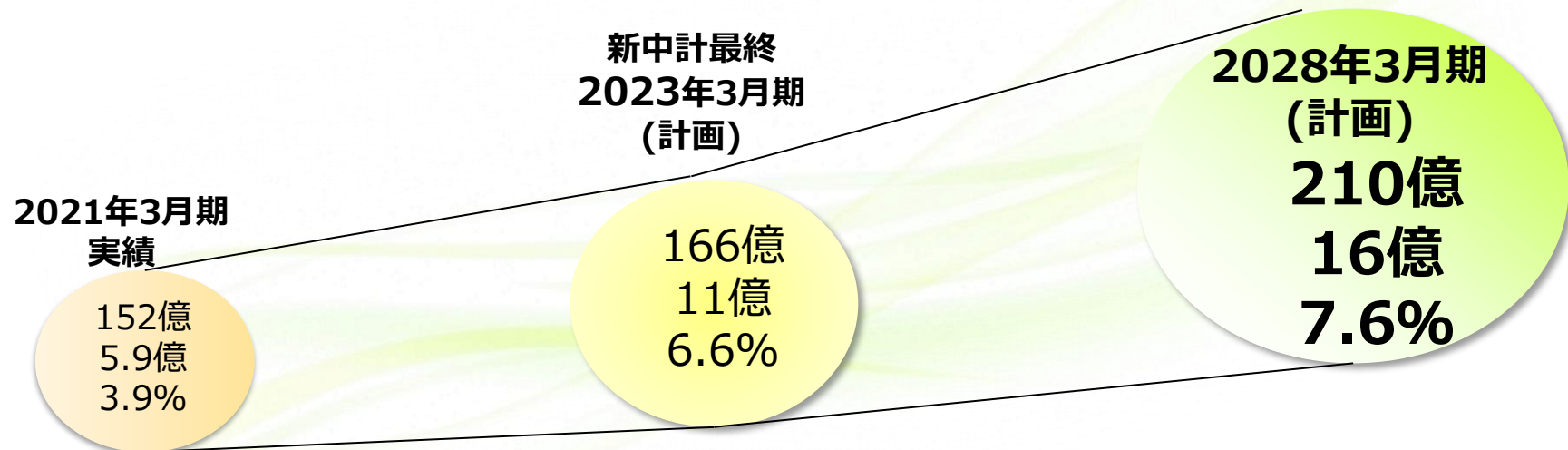
2023.3期：今後の為替状況は不透明なため、2Qで配当金額は修正せず



1. 2023年3月期第2四半期決算概要 P 3
2. 2023年3月期 業績予想 P 8
- 3. 中期経営計画の進捗状況 P13**
4. サステナビリティへの取組み P20
5. Appendix P24

3-1. 今後の計画数値について

- 各部署とも今まで以上にソリューションの実現に向けて新しいチャレンジを行い、利益率の向上を図る。
- 80周年を迎える2028年3月期の連結営業利益率の目標値を7.6%と定め、今回の2か年計画では営業利益率6.6%を目指す。



3-2.中期経営計画の概要

◆ビジョン(中長期的に目指す姿)

オペレーションから ソリューションへ

◆経営目標

期 間	2023年3月期 最終目標	(参考) 2021年3月期	伸び率
2021年4月 ~ 2023年3月	売上高 16,600百万円	15,210百万円	9.1%
	営業利益 1,100百万円	599百万円	83.6%
配当方針	営業利益率 6.6%	3.9%	2.7pts
30%目途	R O E 7.3%	4.4%	2.9pts

3-3. 中期経営計画の概要

- ・売上目標は達成予想
- ・営業利益及び営業利益率は未達見込み

【中期経営計画】

(単位：百万円)

	【参考】2021.3期 実績	2022.3期 計画	2023.3期 計画
売上高	15,210	16,200	16,600
営業利益	599	1,000	1,100
営業利益率	3.9%	6.2%	6.6%

【実績と予想】

	2022.3期 実績	2023.3期 2Q実績	2023.3期 予想
売上高	18,525	9,969	19,000
営業利益	1,060	566	950
営業利益率	5.7%	5.7%	5.0%

3-4-1. 中期経営計画の概要及び進捗状況

【国内事業の主な進捗状況】

1. 精密機器/医療機器

・取引採算の向上

- メディカル推進TEAMを組成し、外資系医療機器メーカーの新規案件を獲得、2021年10月より業務開始
- 引き続き展示会に参加、飛び込み営業を行い、新規医療機器メーカーの新規案件の獲得に向けアプローチを継続

・顧客の生産効率向上に寄与するソリューションを提案

- 環境負荷低減に寄与する梱包仕様変更のソリューションを提案中

・既存拠点の再構築の検討をスタート(成田地区、多摩地区)

- 成田空港の機能強化を目指した滑走路の延伸計画を受け、荷量の増加が予想される成田地区にて、成田事業所拡大プロジェクトの立ち上げ

2. 工作機械

・海外子会社と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供

- 工作機械メーカー様へ一貫物流を日米連携で提案中

3-4-2. 中期経営計画の概要及び進捗状況

【海外物流事業】

1. 米国西海岸に新倉庫を建設し、業容拡大を図る。
2. 顧客のグローバル製造における潜在的な物流課題の解決をサポート

【海外物流事業の主な進捗状況】

◆ 新倉庫の概要

敷地：5,548m²(1,678坪)

延床面積：2,508m²(760坪)

主要設備：オーバーヘッドクレーン30 t 2基

建設費用：7,500千米ドル

→11,500千米ドルに増加

(コンクリートや鋼材等の建築資材価格の高騰が要因)

完成予想図



当初2022年7月竣工予定とするも、コロナ禍の影響により、2023年4月稼働に後ろ倒し見込み

3-4-3. 中期経営計画の概要及び進捗状況

(1) 組織

◆ 事業戦略部の設置

- 動画マニュアル作成ツールの導入
 - ・ 物流DXへの一歩として、作業の可視化・標準化を実施。
- 無人フォークリフトの実証実験予定
 - ・ 省人化を目的とし、2023年1月より導入予定。
今後の人手不足によるフォークリフト運転者の確保問題や無人の利点を活かした休憩時間での作業など効率化に向けた実証を行う。

導入予定フォークリフト



(2) 人材

◆ 人材育成の強化

- 幹部人材育成研修実施
- 「やりがい」、「働きがい」のある職場実現のため、職場環境改善の設備投資、職場環境アンケート、従業員エンゲージメントを実施。

(3) 設備投資

◆ 設備投資 2年総額25億円

- 主な投資内容米国子会社の西海岸にて、新倉庫を建設中。
(総費用11,700千米国ドル) → 総費用15,700千米国ドル程度へ増加見込み

1. 2023年3月期第2四半期決算概要 P 3
2. 2023年3月期 業績予想 P 8
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
- 4. サステナビリティへの取組み P20**
5. Appendix P24

4-1. 2022 日本パッケージングコンテストで 包装アイデア賞を受賞！

12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



	受賞歴
2022年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞 『工数削減・環境負荷低減を目的とした緩衝スペーサーの開発』
2021年	Good Packaging 工業包装部門賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2021 ワールドスター賞 受賞
2019年	Good Packaging 輸送包装部門賞 受賞
2018年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞 アジア包装連盟主催 Asia Star Winner2018 アジアスター賞 受賞
2017年	Good Packaging テクニカル包装賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2018 ワールドスター賞 受賞
2016年	Japan Star 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2017 ワールドスター賞 受賞
2014年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2013年	Good Packaging ロジスティクス賞 受賞
2012年	Good Packaging 医薬品・医療品包装部門賞 受賞
2011年	Good Packaging 電気・機器包装部門賞 受賞
2010年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2009年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞

2022年 包装アイデア賞 受賞作品



- **Good Packaging賞**
11回 受賞
- **World Star賞**
3回 受賞
- **Asia Star賞**
1回 受賞
- **Japan Star賞**
1回 受賞

4-2.地域交流について



●スマイル卓球教室の開催

◆日本卓球リーグ優勝を果たしたサンリツ女子卓球部は、卓球専門雑誌「卓球王国」とのコラボ企画として、9月3日（土）、東京・葛飾区立双葉中学校にて、サンリツ女子卓球部による講習会を開催しました。当日は葛飾区／江東区にある5つの卓球部員70名近くが参加し、基礎練習やチャレンジマッチなどを行いました。子供たちに卓球のおもしろさを伝え、そこから地域に伝播していくことを目的に開催された「スマイル卓球教室」を通して地域交流を行いました。

◆この活動により、SDGsの17の目標のうち、「③すべての人に健康と福祉を」、「④質の高い教育をみんなに」という項目を達成させ、社会貢献を実現させていきます。



※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463

1. 2023年3月期第2四半期決算概要 P 3
2. 2023年3月期 業績予想 P 8
3. 中期経営計画の進捗状況 P13
4. サステナビリティへの取組み P20
- 5. Appendix P24**

【参考】2023年3月期第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2022.3期	2023.3期 2Q	前期比 増減	負債 純資産の部	2022.3期	2023.3期 2Q	前期比 増減
流動資産	6,707	7,423	+716	流動負債	5,957	6,129	+172
有形固定資産	11,724	11,729	+5	固定負債	5,077	5,115	+38
無形固定資産	133	255	+122	負債合計	11,034	11,245	+210
投資その他の資産	1,918	1,921	+3	純資産合計	9,448	10,085	+636
固定資産合計	13,775	13,907	+131				
資産合計	20,483	21,330	+847	負債・純資産 合計	20,483	21,330	+847

【参考】2023年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

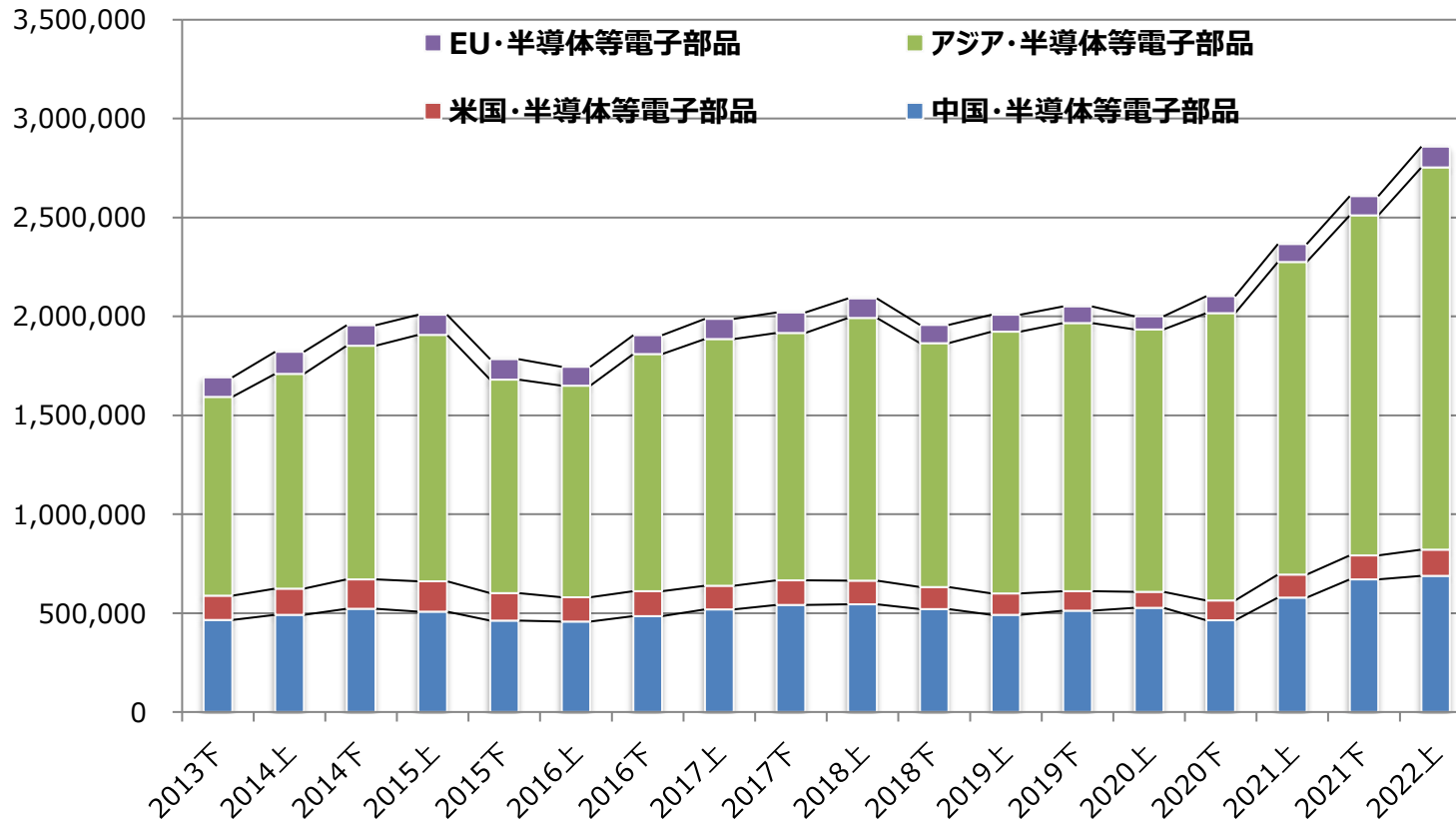
	2022.3期 2Q	2023.3期 2Q	主な要因
期首残高	2,861	2,749	
期中増減額	▲227	+567	
営業活動によるキャッシュフロー	+474	+411	税金等調整前四半期純利益： +791百万円 減価償却費：+369百万円
投資活動によるキャッシュフロー	▲641	▲398	有形固定資産の取得による支出： ▲192百万円
財務活動によるキャッシュフロー	▲75	+251	有利子負債の増加：+478百万円
換算差額	+15	+303	
期末残高	2,634	3,317	

【参考】外部環境(～2022年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体等電子部品)

※半導体等電子部品…熱電子管、個別半導体、ICなど

(単位：百万円)



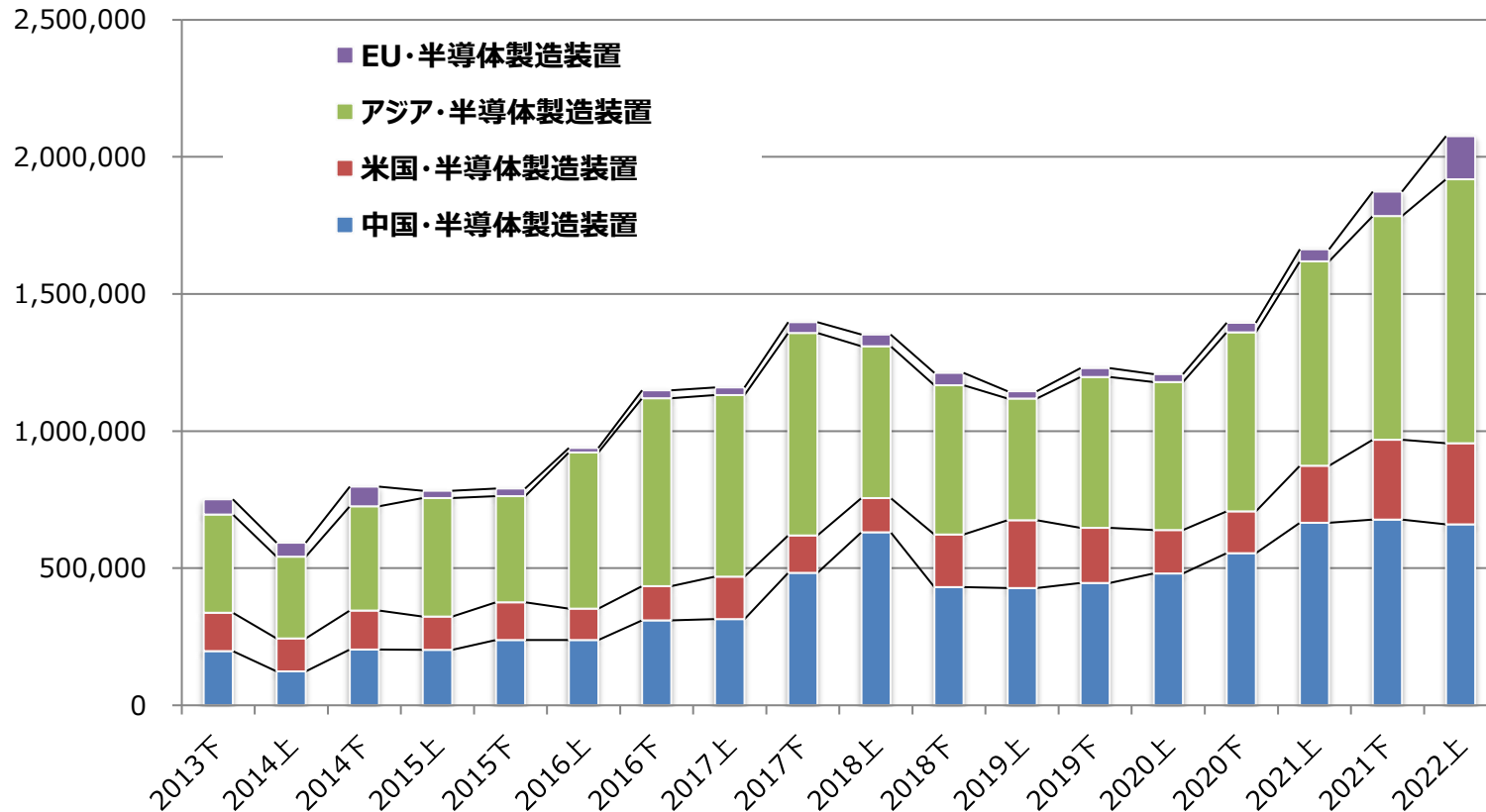
- ・ 2021年上期より、経済回復を背景に半導体の需要が増加傾向にある。

【参考】外部環境(～2022年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)

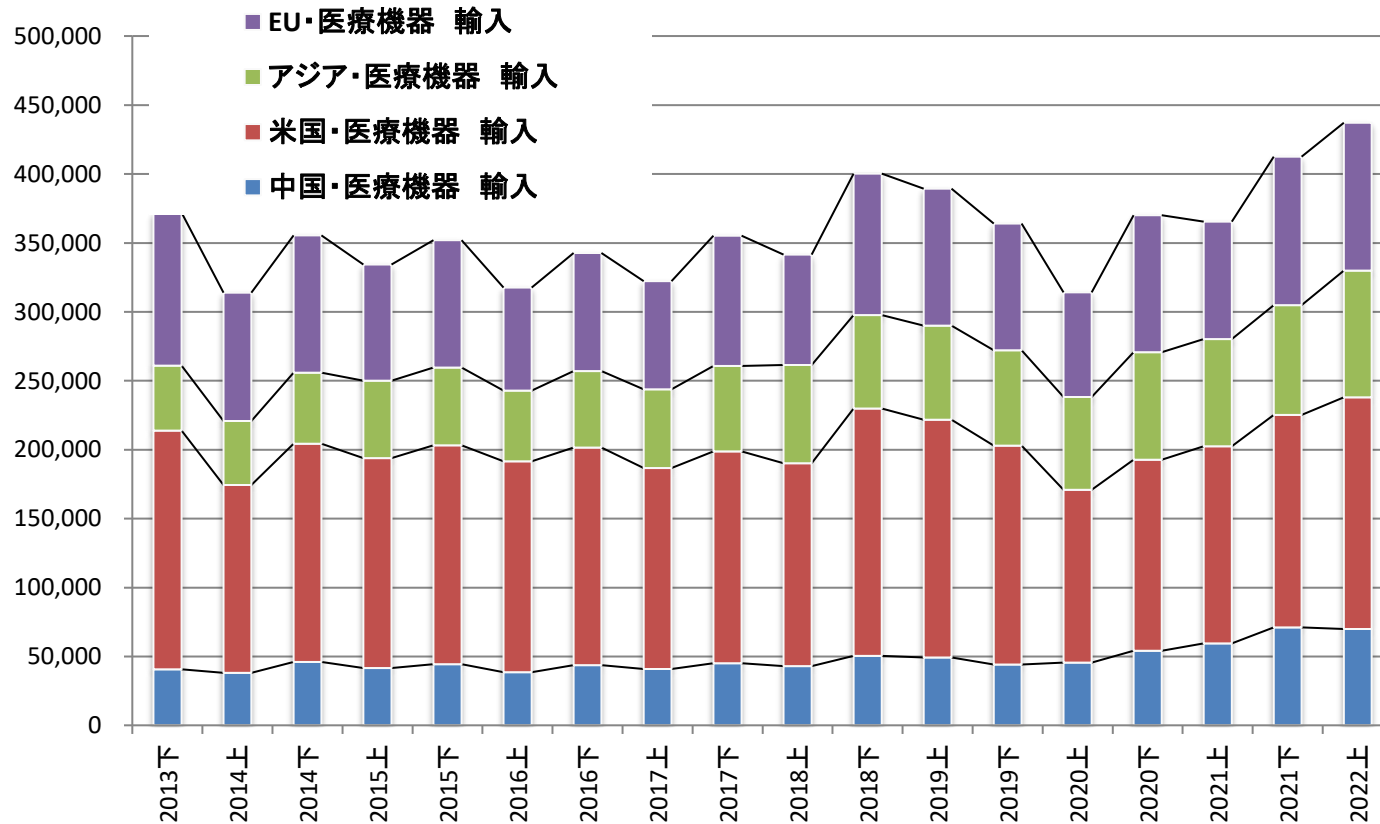


・世界的な半導体需要の増加を背景に、2020下期より大幅増加が続いている。

【参考】外部環境(～2022年度上期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など
(単位：百万円)

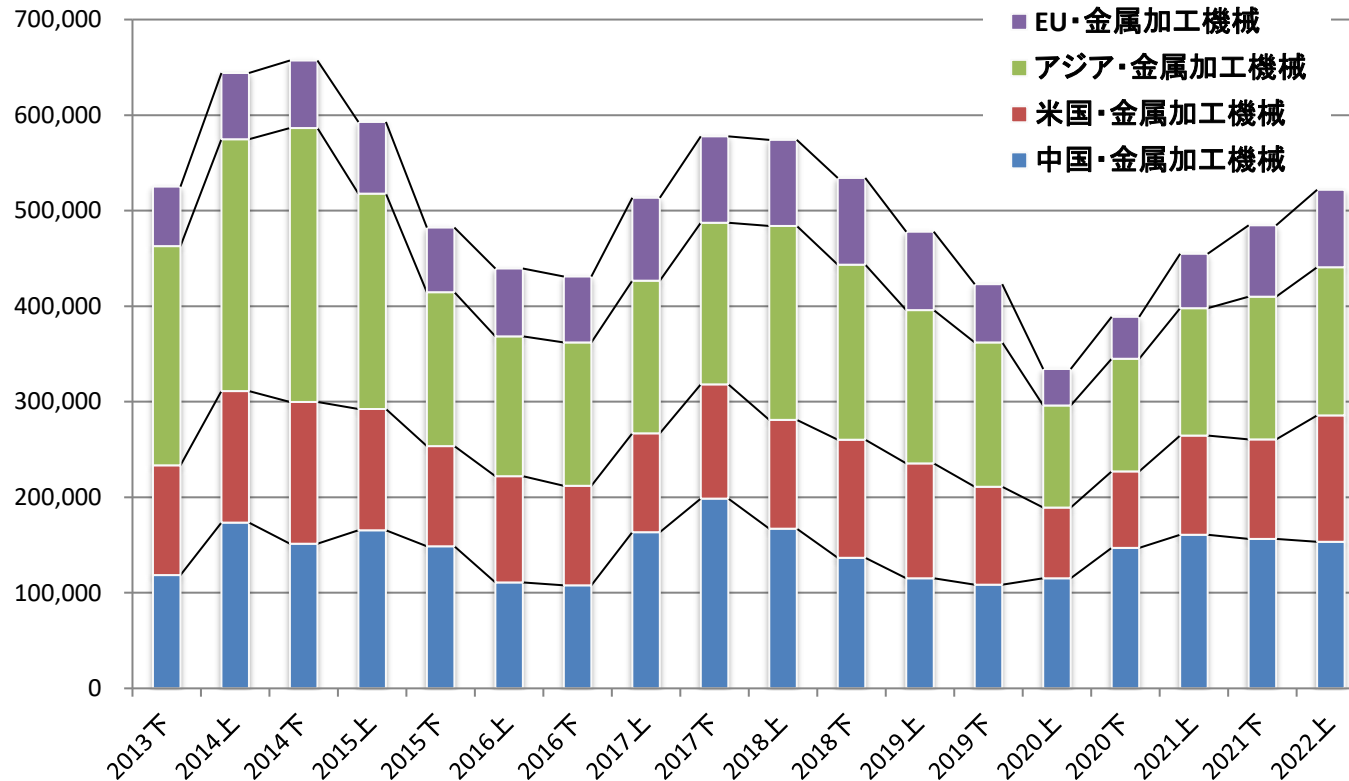


- 2020年上期に大幅に減少したが、2020下期には持ち直しており、コロナ禍以前を上回っている。

【参考】外部環境(～2022年度上期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械
(単位：百万円)



- 金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2017年下期をピークにダウントレンドに入っているものの、2020年上期には底を打ち、アップトレンドへ転換している。